

AUN CONSULTING, Inc.



2006年5月期(第8期)
第3四半期決算(05年6月-06年2月) **補足資料**

2006年4月4日

アウンコンサルティング株式会社

コーポレートサイト	http://www.auncon.co.jp/index.html
サービスサイト	http://www.sem-ch.jp/
代表者ブログ	http://www.auncon.co.jp/shida/

2006年5月期 第3四半期業績ハイライト



第3四半期は、第2四半期に続き大幅な増収増益となりました

第3四半期(05.12-06.2月)は四半期売上高1,164百万円(第2四半期比約17%増) 四半期経常利益147百万円(第2四半期比約58%増)と大幅な増収増益となりました。

第3四半期は、1人あたりの生産性が大幅に向上しました

売上高を社員数で除した1名あたりの生産性は、第3四半期末時点で前期通期実績の32百万円を大幅に上回る51百万円となりました。
人員増に頼らない効率化を進めた結果、1人あたりの生産性が伸び利益率も上昇しました。

売上高経常利益率が改善しました

経営目標のひとつである売上高経常利益率10%を実現しました。
中間期には株式公開に係る準備費用を計上した結果、8.8%となっておりましたが、この第3四半期までの業績においては10.3%となり、1.5ポイント改善しました。

2006年5月期 第3四半期のトピックス



2006/02/07

インターネット利用時間等に関する調査結果を発表
回答者の約9割が毎日1時間以上インターネットを利用している等
インターネットが生活に深く浸透していることが明らかになりました。

2006/01/31

P4P(検索連動型広告+コンテンツ連動型広告)市場規模予測
P4P広告は2005年に678億円に達しました。今後も持続的に拡大し続け
2010年には約2,800億円まで拡大するものと予測します。

2005/12/22

株式の分割に関するお知らせ
2006年2月1日付をもって、普通株式1株を4株に分割しました。
発行済株式数は69,628株となりました。

2006年5月期 第3四半期損益計算書



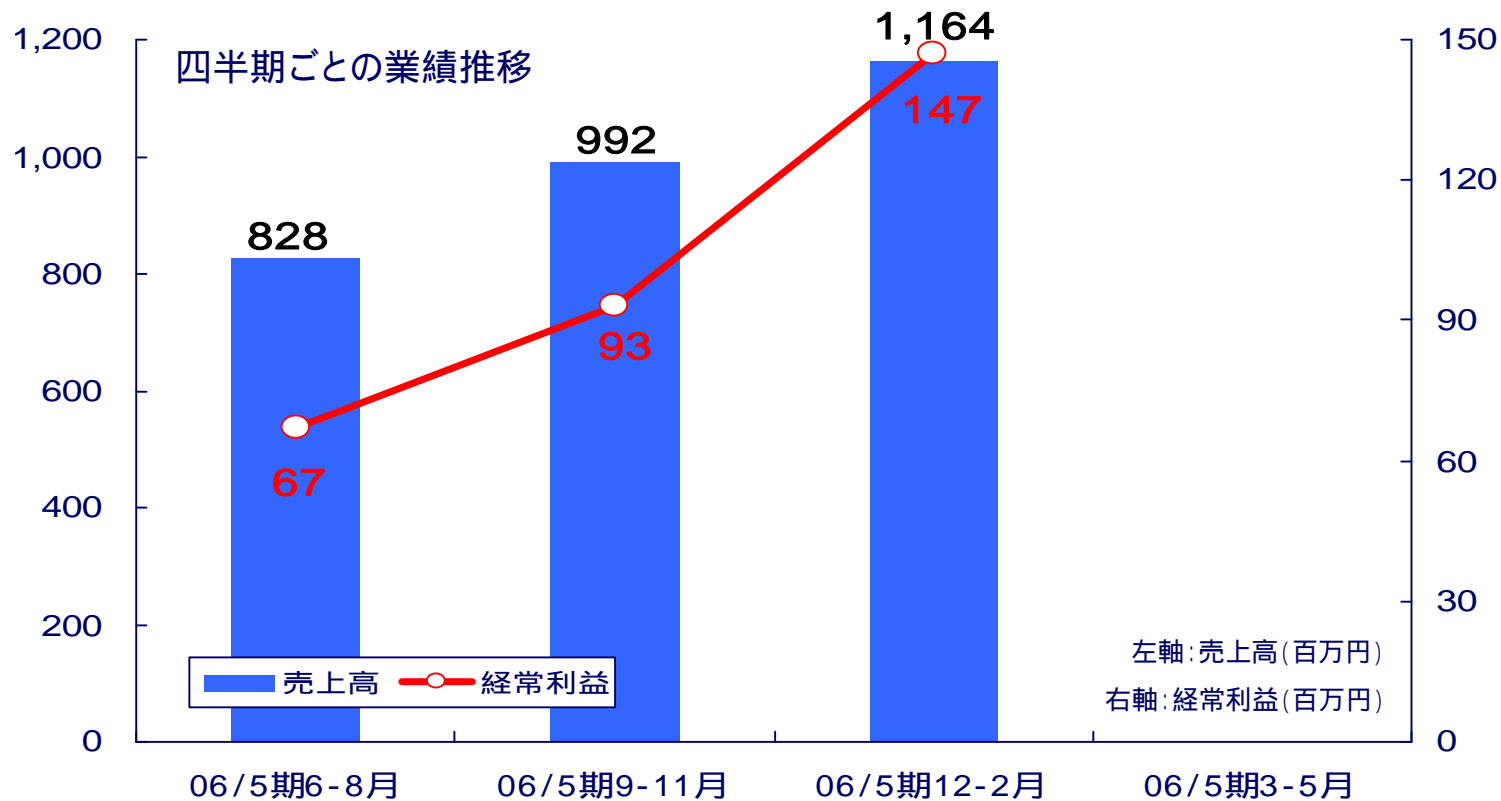
インターネット広告市場の急速な成長を背景に、引き続きP4Pが前年を大幅に上回る受注状況で推移いたしました。

	06/5 3Q	05/5 3Q	増減率	05/5通期
売上高(百万円)	2,984	-	-	1,834
売上総利益(百万円)	567	-	-	429
売上総利益率(%) ¹	19.0%	-	-	23.4%
販管費(百万円)	236	-	-	246
販管費率(%)	7.9%	-	-	13.4%
営業利益(百万円)	330	-	-	183
営業利益率(%)	11.1%	-	-	10.0%
経常利益(百万円)	307	-	-	177
経常利益率(%)	10.3%	-	-	9.7%
純利益(百万円)	182	-	-	101
純利益率(%)	6.1%	-	-	5.6%
EPS(円)	2818.45	-	-	3416.52

(1) 売上総利益率の減少は、前期におけるキックバック方式の計上によるもので、当期と同様の計算をした場合19.5%となります。

売上高と経常利益の推移 > 四半期推移

四半期ごとの推移では、第3四半期は、第2四半期と比べ、売上高が17.3%上昇し1,164百万円、経常利益は約57.0%上昇し147百万円となりました。



通期業績予想の上方修正について



顧客単価の上昇と社員1名あたりの生産性効率等により、計画を大幅に上回る堅調さで業績が推移いたしました。

この結果、2006年5月期通期の業績見通しを下記のとおり上方修正いたしました。

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	純利益 (百万円)	EPS(円)
前回予想(A)	3,800	360	208	3,313.57
今回修正予想(B)	4,000	410	237	3,655.82
増減額(B-A)	200	50	29	342.25
増減率(%)	5.3%	13.9%	13.9%	10.3%
(ご参考) 前期実績 05/5期 通期	1,834	177	101	3,416.52

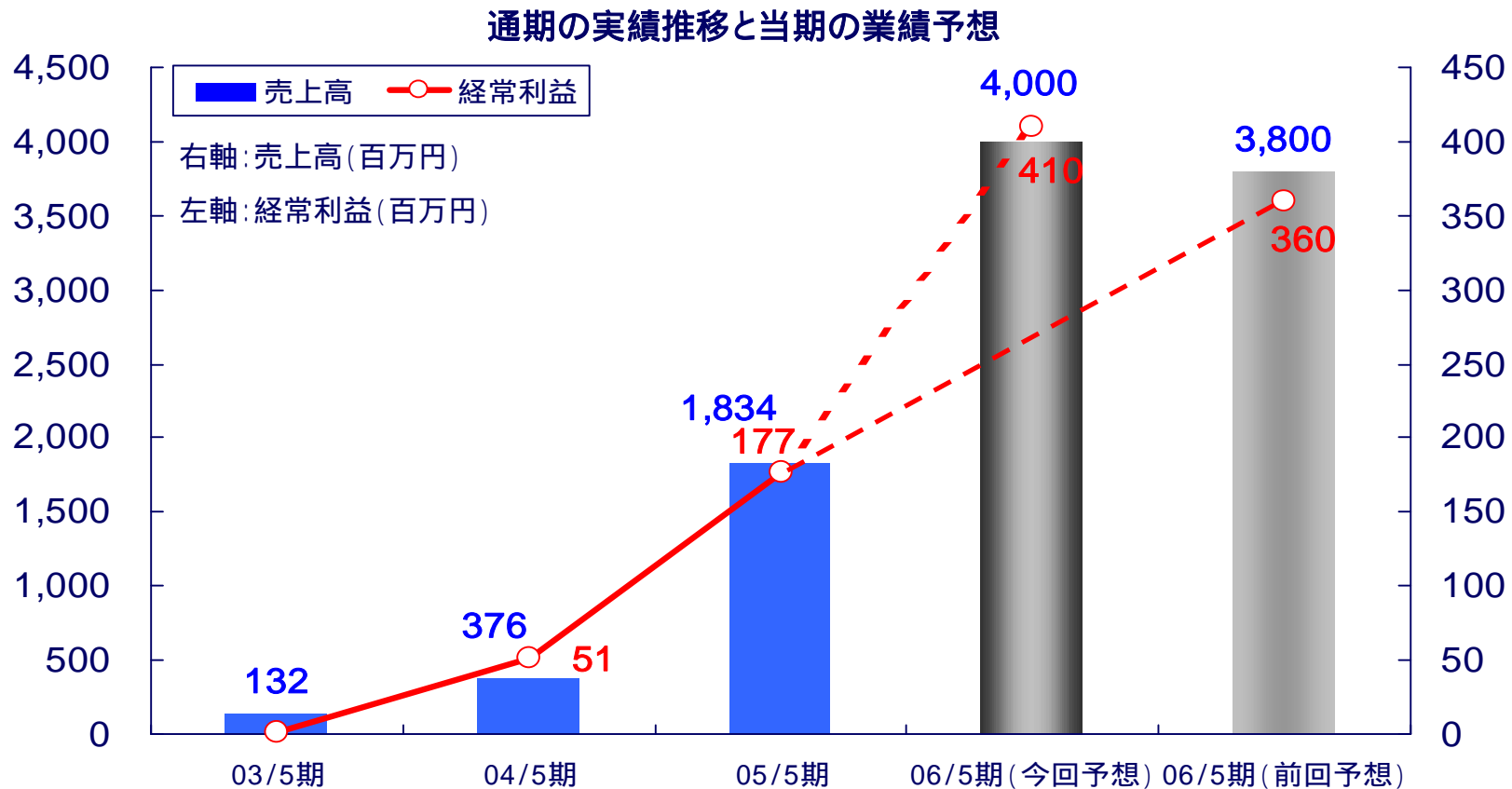
2006年2月1日をもって当社普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。

業績予想(前回予想(A)及び今回修正予想(B))のEPSは、当期首に上記株式分割が行われたものとして計算しています。

前期実績のEPSにつきましても、前期首に上記株式分割が行われたものと仮定して計算しています。

売上高と経常利益の推移 > 通期(予想)

通期の業績予想を、売上高3,800百万円から4,000百万円に、
経常利益360百万円から410百万円にそれぞれ上方修正いたしました。



2006年5月期 第3四半期貸借対照表



第3四半期末の総資産は1,760百万円(前期末比1,135百万円増)、株主資本は1,122百万円(前期末比918百万円増)となりました。

	06/5 3Q	05/5 3Q	増減率	05/5通期
流動資産	1,703	-	-	572
現預金	1,100	-	-	204
固定資産	56	-	-	51
有形固定資産	15	-	-	13
無形固定資産	8	-	-	5
投資その他の資産	32	-	-	32
総資産	1,760	-	-	624
流動負債	637	-	-	420
固定負債	0	-	-	0
負債合計	637	-	-	420
株主資本	1,122	-	-	203

(単位;百万円)

2006年5月期 第3四半期キャッシュフロー計算書



主として、利益による営業CFの増加、株式の発行による財務CFの増加等により現金及び現金同等物は895百万円増加し、第3四半期末の資金残高は1,100百万円となりました。

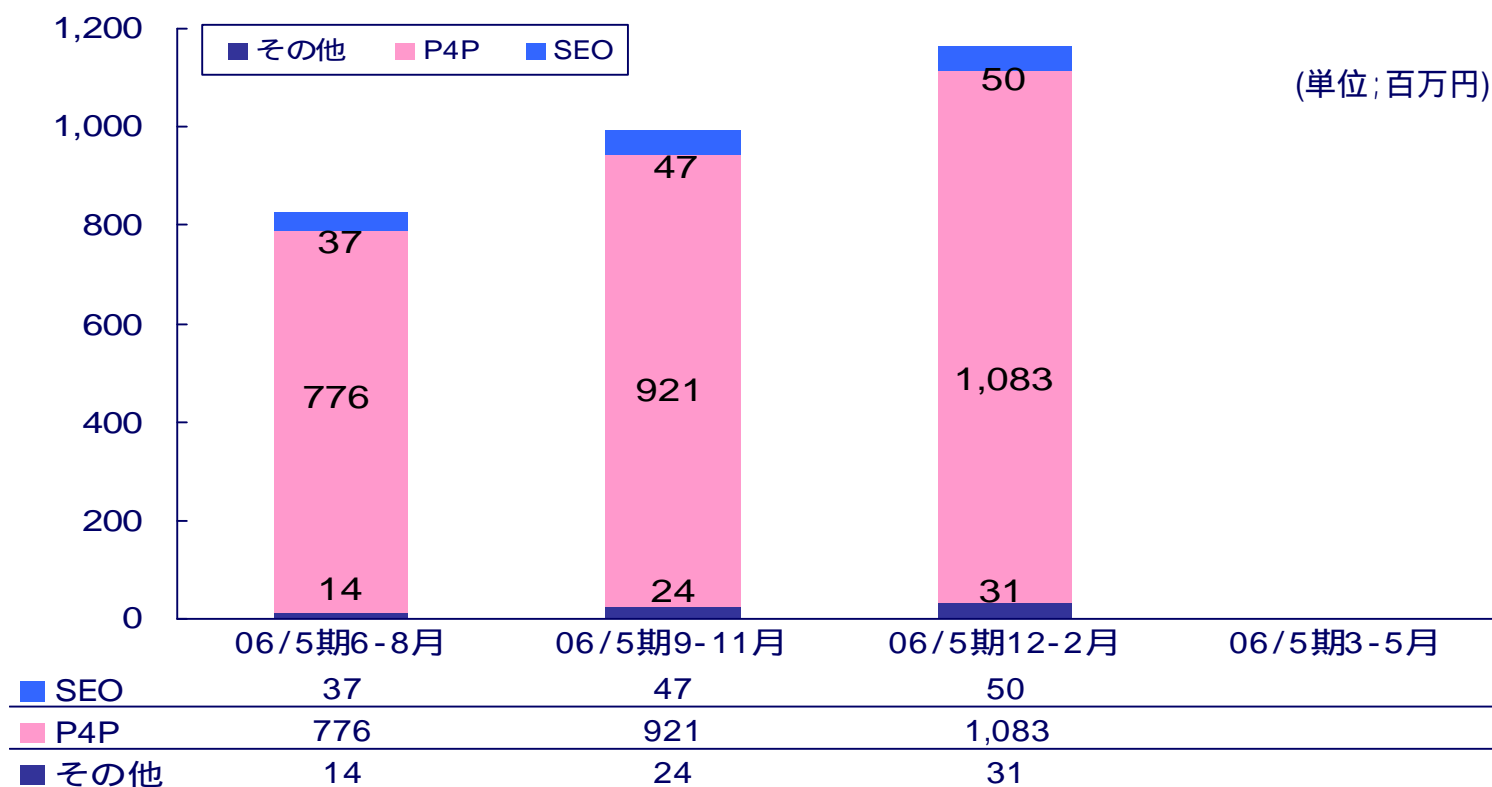
	06/5 3Q	05/5 3Q	増減率	05/5通期
営業活動によるCF	180	-	-	144
投資活動によるCF	9	-	-	20
財務活動によるCF	723	-	-	65
現金及び現金同等物の増減	895	-	-	58
現金及び現金同等物の期首残高	204	-	-	146
現金及び現金同等物の期末残高	1,100	-	-	204

(単位;百万円)

セグメント情報 > セグメント別売上高の四半期推移



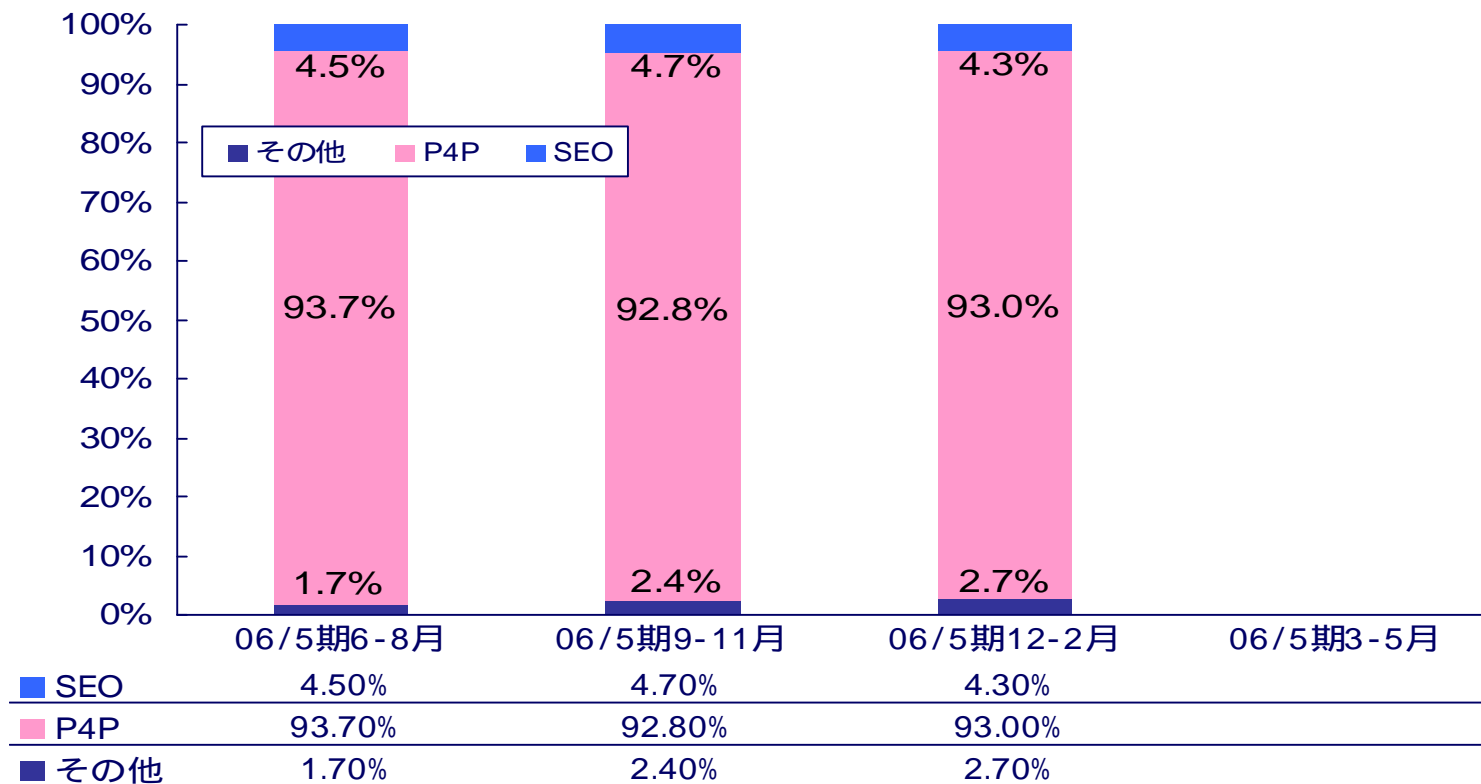
セグメント別では、P4Pが全体の売上高上昇を牽引しました。
四半期ごとのP4Pの売上高推移は、第1四半期776百万円、第2四半期921百万円
(約19%増)、第3四半期1,083百万円(約18%増)となりました。



セグメント情報 > セグメント別売上構成比の推移

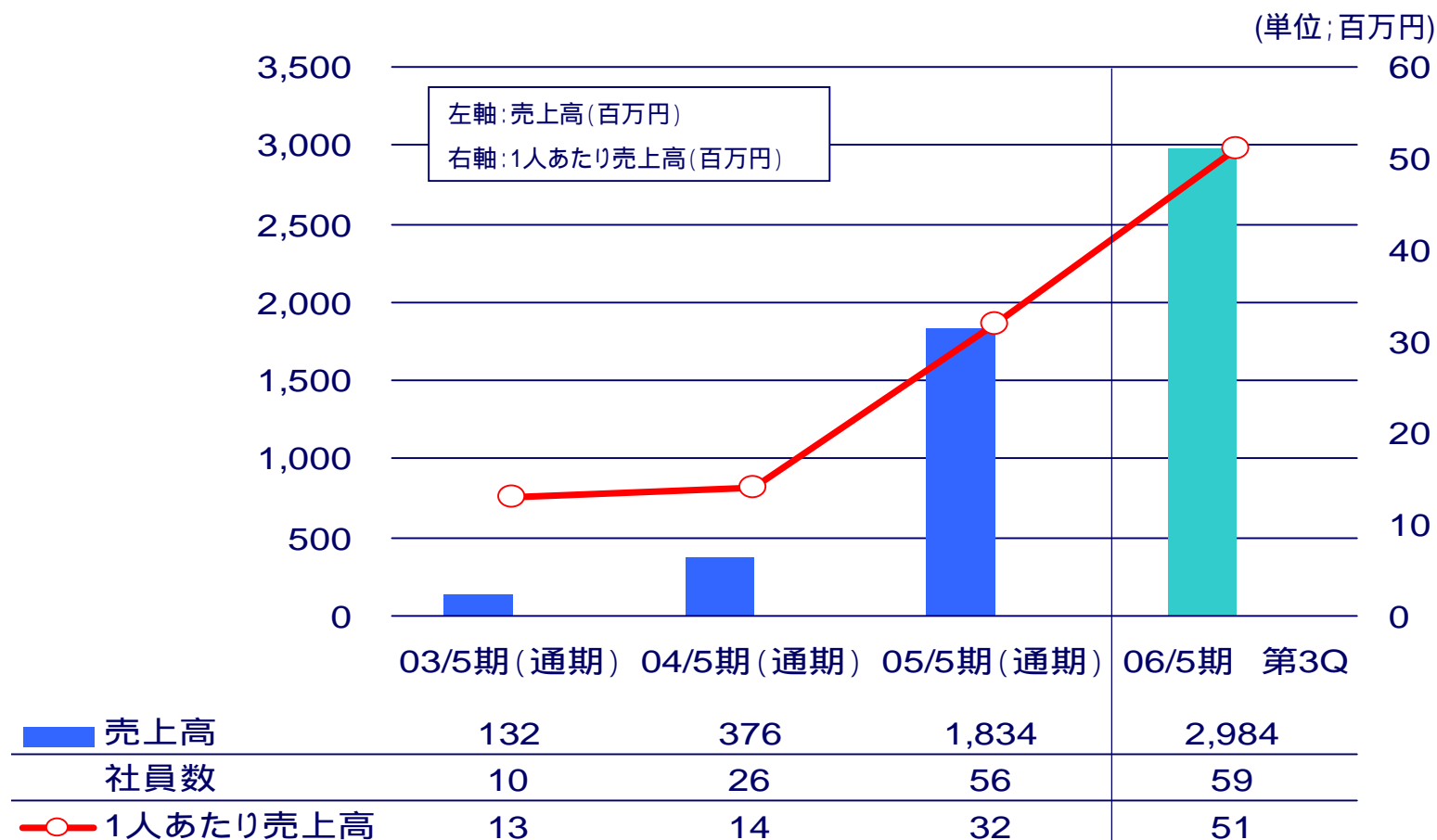


セグメント別の売上高構成比のうち、P4Pの比率は、第1四半期93.7%、第2四半期92.8%、第3四半期93.0%と推移いたしました。



1人あたり生産性の推移

売上高を期末正社員数で除した社員1名あたりの生産性につきましては、前期通期実績(32百万円)を大幅に上回り、第3四半期末で51百万円となりました。



➡ SEM事業の利益指標の改善

- 中長期的に売上総利益率20%の実現
- 中長期的に経常利益率10%の維持・向上

➡ 二番目の柱となる事業の開発

- 事業ドメインであるマーケティング分野のコンサルティング事業の開発
 - シナジーの高い事業
 - マクロ的に成長市場
 - レバレッジ&ストック型のビジネスモデル
 - ブルーオーシャン(Only One)実現可能

➡ 内部管理体制の強化

- コーポレート・ガバナンス
- リスクマネジメント

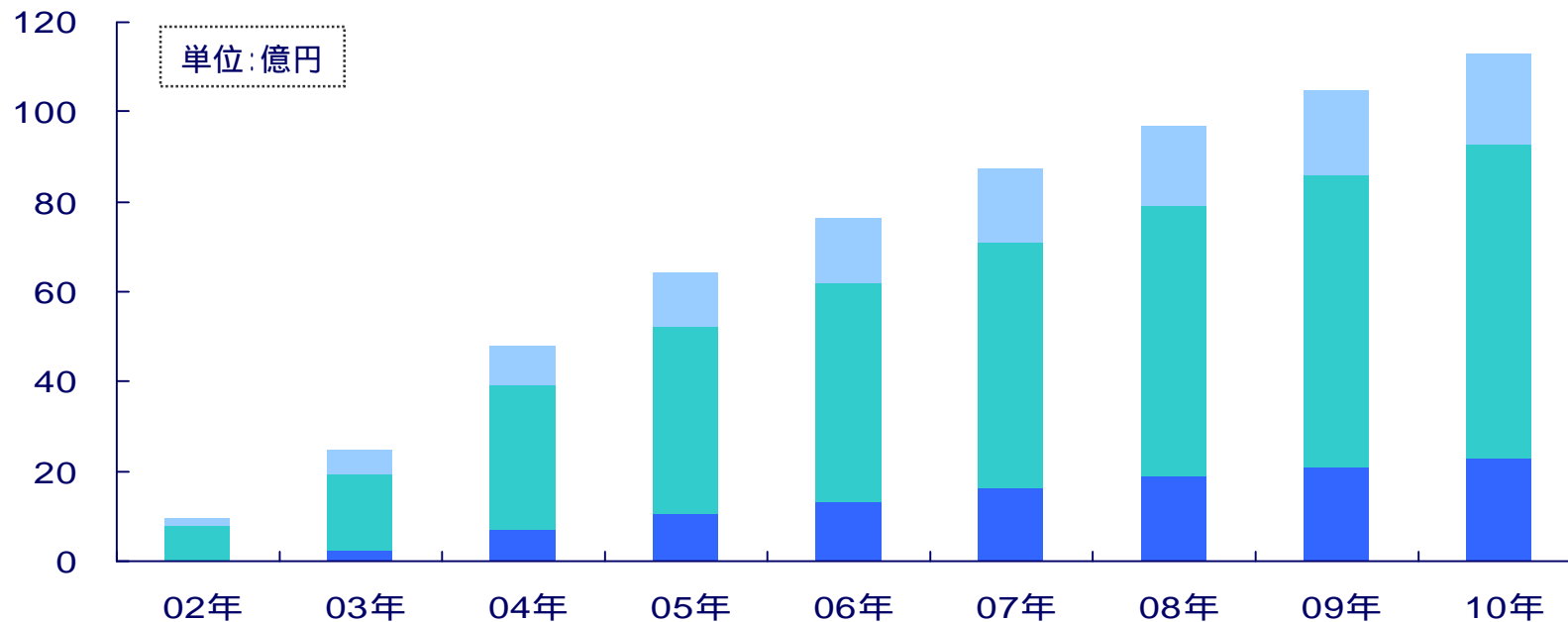
検索エンジンマーケティング(SEM)は、まだ新しいビジネスモデルですが、インターネットの普及と共にめまぐるしくその手法が変化しています。下記は、当社が発表した、検索エンジンマーケティングの世代区分です。

- ➡ 第1世代(1996(平成8)年～):
検索エンジン登録(ディレクトリ登録)
- ➡ 第2世代(1999(平成11)年～):
SEO(検索エンジン最適化)
- ➡ 第3世代(2002(平成14)年～):
P4P(検索連動型広告、リスティング広告)
- ➡ 第4世代(2005(平成17)年～):
SEMポートフォリオ(SEOとP4Pの融合)
- ➡ 第5世代(2006(平成18)年～):
コンテンツ連動型広告、ナショナルクライアント
の利用、マスメディア融合、モバイルサーチ

参考資料 > 市場動向 > SEO市場規模予測



SEOの市場規模は、認知度と集客効果の高まりを背景として拡大し、2005年は約64億円、2010年には113億円まで成長すると予測されます。



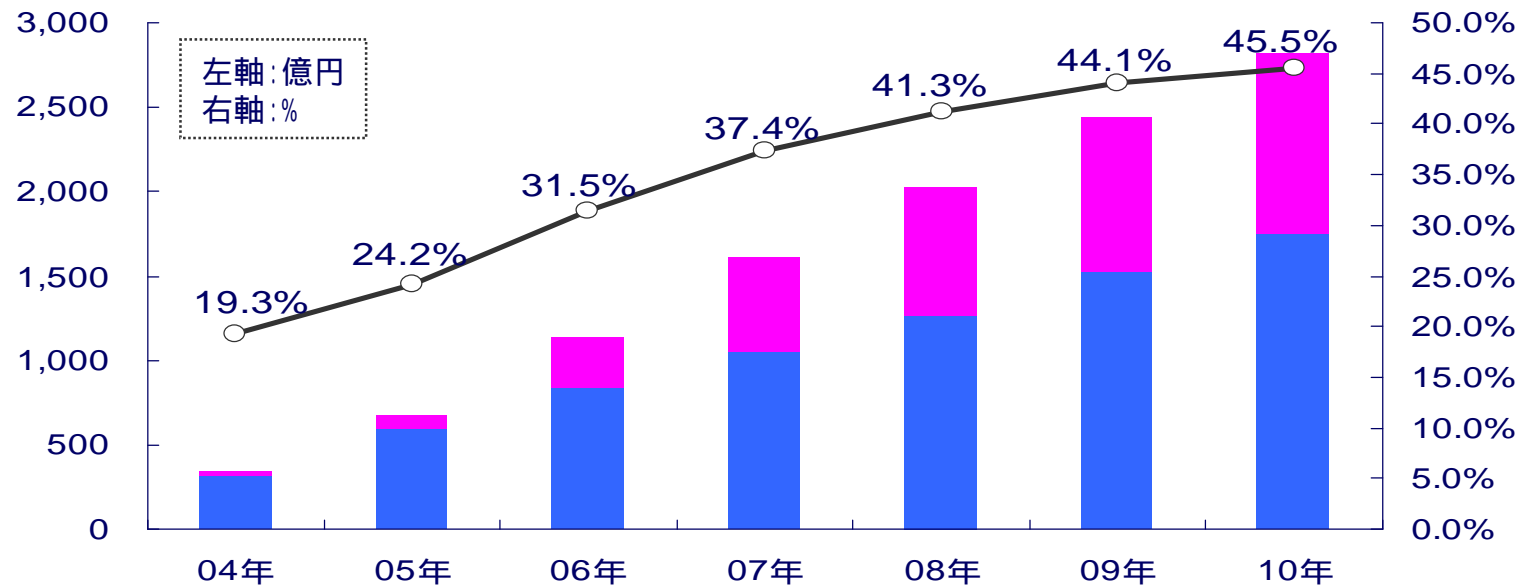
	02年	03年	04年	05年	06年	07年	08年	09年	10年
ツール	0.5	2.5	7.1	10.6	13.3	16.2	18.8	21.0	23.2
インハウス	7.5	17.2	32.0	41.6	48.5	54.8	60.2	64.8	69.4
アウトソーシング	1.6	5.3	8.7	11.9	14.5	16.5	18.1	19.1	20.3
SEO合計	9.6	25.0	47.9	64.1	76.4	87.5	97.1	105.0	113.0
対前年成長率(%)		161.4%	91.8%	33.8%	19.2%	14.5%	11.0%	8.1%	7.6%

出典:06年3月15日当社作成資料

参考資料 > 市場動向 > P4P市場規模予測



P4P広告費(検索連動型、コンテンツ連動型)は今後も持続的に拡大し、インターネット広告全体に占める割合も、アメリカと同じく、約5割まで成長するものと見ております。当社は、これら成長市場において、検索連動型広告の他、コンテンツ連動型広告の取り扱いも行っております。



	04年	05年	6年	7年	8年	9年	10年
■ コンテンツ連動型広告	30	80	298	556	759	917	1,060
■ 検索連動型広告	320	598	838	1,051	1,264	1,523	1,758
P4P合計	350	678	1,135	1,607	2,024	2,441	2,819
インターネット広告費	1,814	2,800	3,600	4,300	4,900	5,537	6,201
P4P成長率(%)		93.7%	67.4%	41.6%	25.9%	20.6%	15.5%
○ 対インターネット広告費割合(%)	19.3%	24.2%	31.5%	37.4%	41.3%	44.1%	45.5%

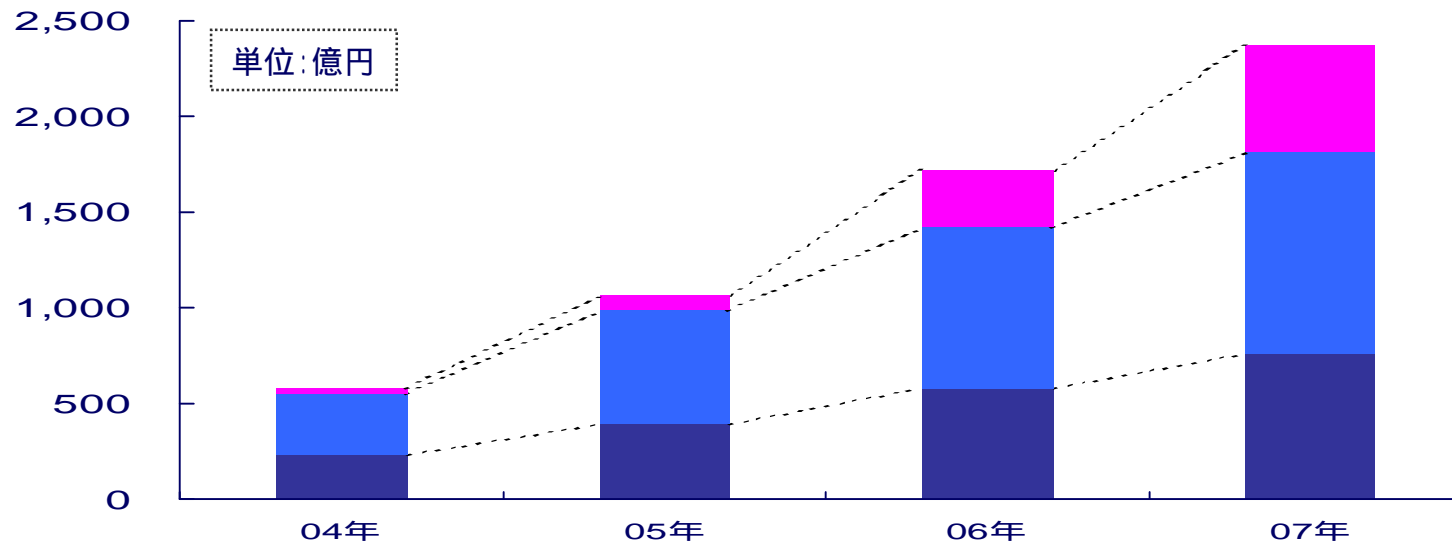
出典:06年1月31日当社作成資料

参考資料 > 市場動向 > アフィリエイト広告市場規模との比較



当社は、検索連動型広告とコンテンツ連動型広告の両方への広告配信を既に行っており、それらを合わせてP4Pとよんでおります。

その市場規模は、アフィリエイト広告に比べ拡大規模が大きく、今後もインターネット広告市場を牽引していくものと考えます。



	04年	05年	06年	07年
■ コンテンツ連動型広告	30	80	298	556
■ 検索連動型広告	320	598	838	1,051
■ アフィリエイト	230	390	580	760

アフィリエイト広告市場規模予測は、野村証券金融経済研究所の予測を引用しました。

お問い合わせ



[ホームページのご案内]

コーポレートサイト	http://www.auncon.co.jp/
サービスサイト	http://www.sem-ch.jp/
代表者ブログ	http://www.auncon.co.jp/shida/
モバイルIRサイト	http://m-ir.jp/c/2459

[IRに関するお問い合わせ窓口]

経営企画グループ	TEL	03-3239-2868
	FAX	03-3239-2838
	Mail	ir@ auncon.co.jp



当社の会社情報・IR情報は、モバイルサイトでも閲覧できます。

URLを入力もしくは上記QRコードを読み取ることにより、モバイルサイトに移動します。

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または、通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみに全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

尚、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。